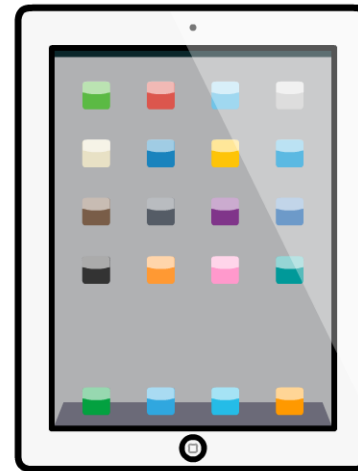
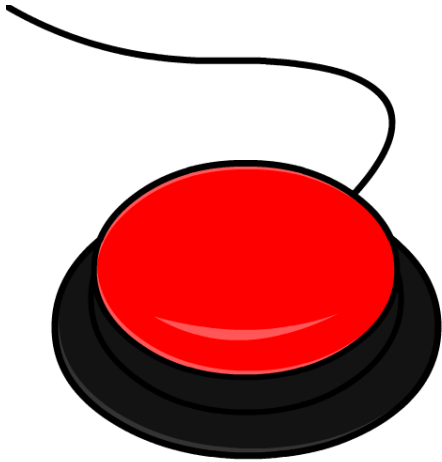




支援機器の活用について

香川県立高松養護学校
自立活動室

内容

- ① 支援機器の3つの実習
- ② 支援機器活用の3つの考え方
- ③ 支援機器活用の3つの落とし穴
- ④ 支援機器活用のまとめ

① 支援機器の 3つの実習

実習 その1

おもちゃをスイッチで動かそう

もういいや....どうせできないから



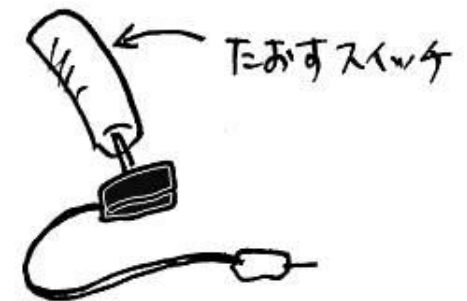
わー！おもしろい



中邑賢龍「AAC入門」2000年 こころリソースブック出版会より引用

つかうもの

①スイッチ



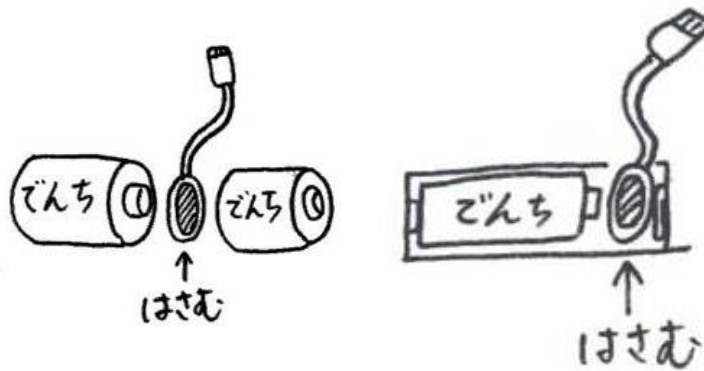
②BDアダプター



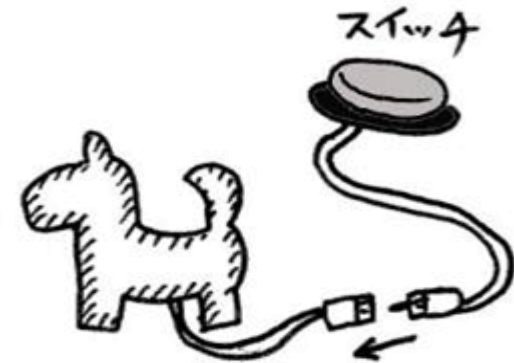
BDアダプター
(電池式のおもちゃ用)
つくれば 200円くらい.

つかいかた

①



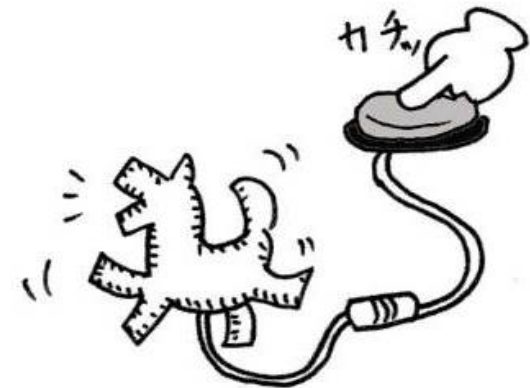
②



③ おもちゃの電源を
ONにする！

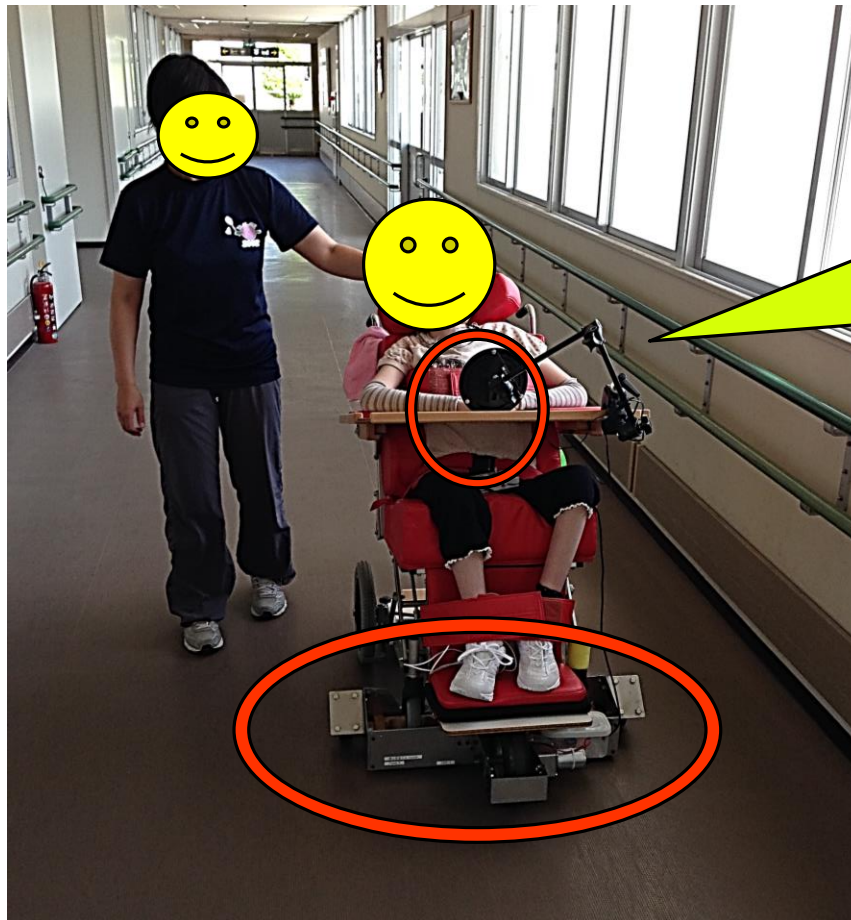
(動かなければ成功)

④



活用事例

スイッチカーですいすい移動



車椅子の前輪を
スイッチカーに
のせるよ！！

活用事例

ボールがごろごろ・・・

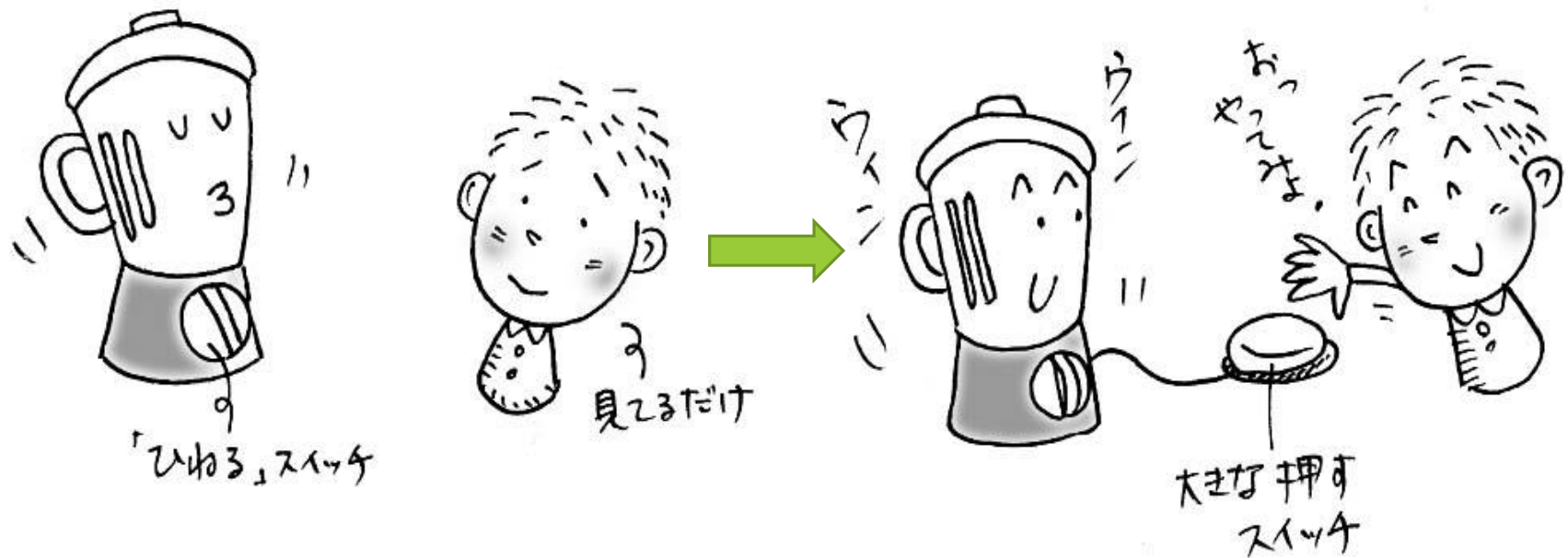
ピッチングマシーンが
箱を引っ張ると・・・

ボールがたくさん
落ちてきた～！！



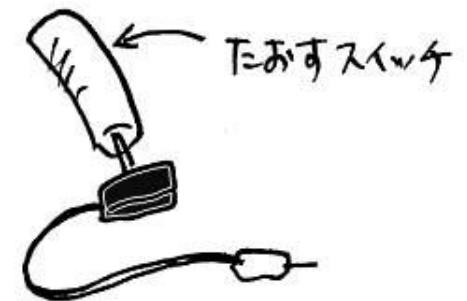
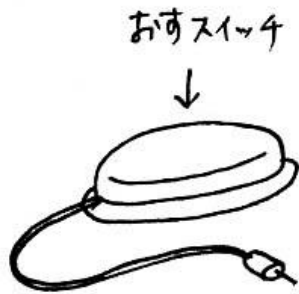
実習 その2

電化製品をスイッチで動かそう



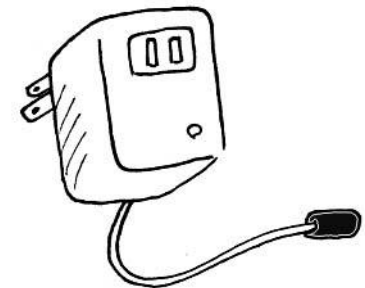
つかうもの

①いろいろなスイッチ



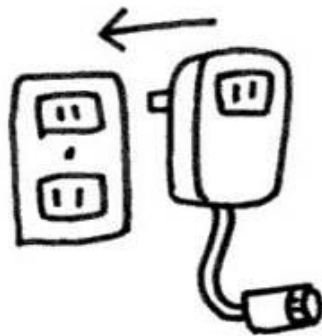
②リモコンリレー

(2015年12月現在は市販されていません)

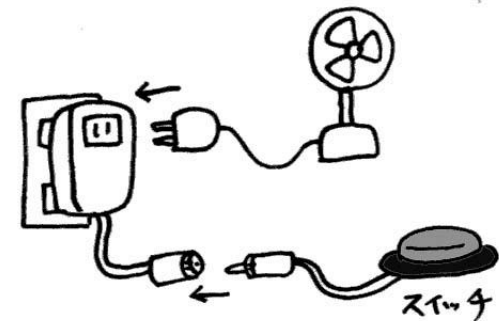


つかいかた

①



②



③ 電化製品のスイッチ
をONにする！
(動かなければ成功)

④



スイッチを押し続けるのが難しいときには・・・ こんな機器も・・・

スイッチラッチ&タイマー デュアル

電池を使った機器を動かします

ラッチ機能

1回スイッチを押すと、
動き続け、もう1回
押すと止まる機能。



タイマー機能

タイマー(分・秒)が
セットでき、1回押す
と、設定の時間動き
続ける機能。

パシフィックサプライ株式会社HPより引用
<https://www.p-supply.co.jp/products/517>

活用事例

ボールプールを振動させちゃお～！



スイッチを押すと
体全体にぶるぶるが
伝わってくる～！

ボールプールの中に
マッサージ器を入れて

活用事例

かき氷だって作れちゃいます！



夏はやっぱり
かき氷でしょ！

実習 その3

VOCAにメッセージをふきこもう



つかうもの

①よく使うVOCA (Voice Output Communication Aid)

ビッグマック



- ・1つのメッセージが録音出力できる。
- ・外部スイッチを接続できる。

スーパートーカー



- ・録音数が1、2、4、8に分割できる。
- ・ページの切り替えができる。
- ・外部スイッチを接続できる。

ステップ バイ ステップ



- ・決まった時間のなかで複数メッセージが録音出力できる。
- ・外部スイッチを接続できる。

トーキングエイド



- ・自分で、50音表からメッセージを打ち込んで出力できる。

お題

- 昼休みに、保健係のAさんが、健康観察カードを渡しにいきます。
- 保健室の先生を呼んで、健康観察カードを渡してあいさつをして帰ります。
このときに、録音するメッセージを考えて下さい。

活用事例

朝の会での健康チェック係



〇〇さん元気ですか？

② 支援機器活用の 3つの考え方

キーワードは3つのA

AT

AAC

AIM

AT

の一例

○いろいろなスイッチでおもちゃや家電製品を動かす。

○電動車いす

○パソコン

○iPad

AT

◎Assistive Technology (支援技術)



「障害による物理的な操作上の困難や障壁
(バリア)を、機器を工夫することによって支援
しようという考え方」

文部科学省「情報の教育化に関する手引き」より

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm

AAC

ハイテク

ICTなどの高度な技術を活用したコミュニケーション技法

○VOCA(音声出力型コミュニケーションエイド)

○iPad

○パソコン

○スマートフォン

など

活用事例

iPad アプリ「DropTalkHD」であいさつ

行ってらっしゃい！



行ってきます！

AAC

ローテク

電氣的でない簡便な道具を用いる
コミュニケーション技法。

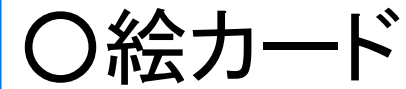
○視線ボード

○絵カード

○コミュニケーションボード

など

機器だけにかぎりません・・・



AAC

ノンテク

テクノロジーや道具は使わないコミュニケーション技法

○指差し

○ジェスチャー

○手話、指文字

など

AAC

◎Augmentative Alternative Communication (拡大・代替コミュニケーション)



「手段にこだわらず、その人の持つ能力とテクノロジーの力で自分の意思を相手に伝えられること」

(中邑2000)

AIM

- Accessible Instructional Materials
(アクセシブルな教材)



「あつかいやすい配慮がされた教材のこと」

AIM

の一例

○iPadなどの学習教材

○デジタル教科書

○電子図書

ATもAACもAIMも、発想は共通！

- 手段にこだわらず
- 今できることと、道具を組み合わせる
- できるようにしちゃう！
- できる場面，活動をどんどん増やしましょう。
- 「もっとしたい！」「やってみようかな」という意欲を育てる。

③ 支援機器活用の 3つの落とし穴

支援機器の落とし穴 その1



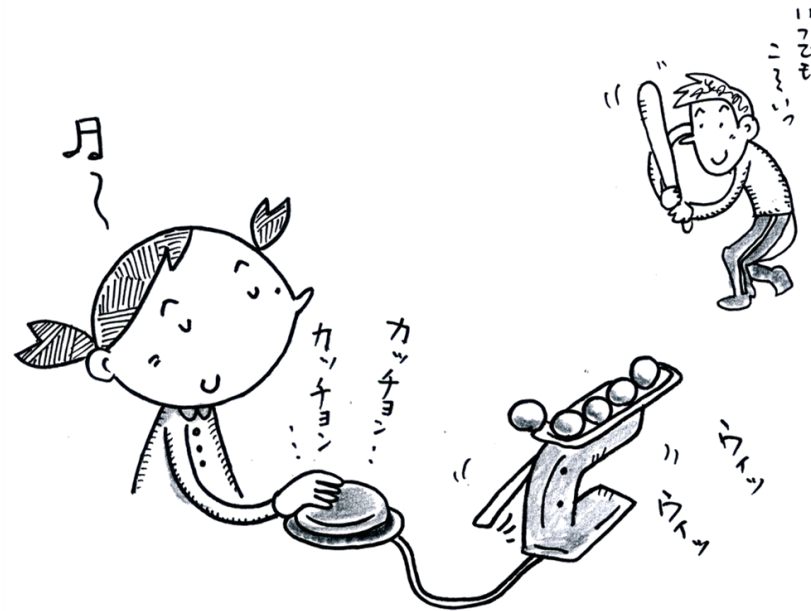
スイッチを押すことが目的になっていませんか？
活動が流れることを優先してはいませんか？

支援機器の落とし穴 その2



どうしたらいいのか、理解できていないかも知れません。
そもそも、このおもちゃに興味があるのでしょうか？

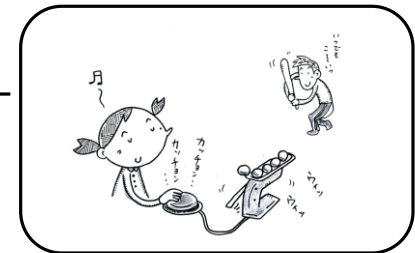
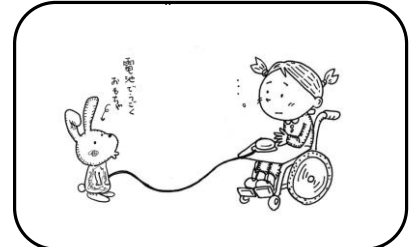
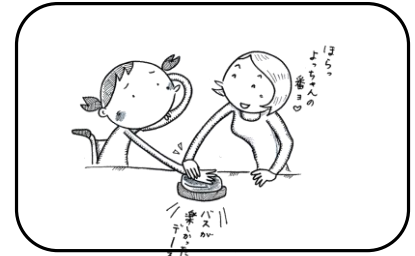
支援機器の落とし穴 その3



活動ではなく、スイッチの感触を楽しんでいるだけ？
かも知れません。
子どもの意図と、私たちの意図はずれていませんか？

支援機器活用のポイント

- 活動の成立を急がずに…
子どもの動きをしっかりと、待とう。
- 遊びや活動が子どもに合っているのか
しっかり考えよう。
- スイッチを押すことが目的ではありません。
何が目的かを見失わないようにしましょう。
- 機器を使う前には、必ず動作確認をしよう。



④ 支援機器活用のまとめ

支援機器を活用することで

成功体験

- ・自分でできた
- ・活動に参加できた。

・学習や生活が
楽になった。

次への意欲

- ・またやりたい
- ・次は何に
挑戦しよう



どんどん使ってみてください

アイデア・工夫

子どもをよく
見て

つかってみる

やってみる

新しい
発見が..



活動を支えていくのは

「この子は方法さえあ
れば、自分でできる」
という子ども観

